

## 平成 28 年度愛媛大学技術・技能職員研修 —機械・環境建設系—

機械・環境建設系技術班，実習工場技術班，自然科学系技術班

主 催：国立大学法人愛媛大学

研修期間：平成 28 年 9 月 8 日（木）～ 9 月 9 日（金）

研修会場：愛媛大学本部 5 階第 2 会議室（開講式，閉講式，講義）  
愛媛大学農学部附属農場（実習・農場見学）

### 1. 目的

技術・技能職員に対し，その職務に必要とされる専門的知識，技術等を修得させることにより，教育研究現場における技術水準を高め，能力，資質等の向上を図ることを目的とする。

本学農学部附属農場（以下，附属農場と称す）を利用する実習では，農業機械，農業土木などの関連した技術が使われていることから，他分野での技術研修を行うことで新たな知見を得ることもできる。また，他分野の技術職員とともに実習や意見交換会を設け交流することで，今後の実務に対する姿勢等において，お互いに刺激を与えられることが期待できる。

### 2. 受講機関と受講者数（計 21 名）

愛媛大学工学部等技術部：14 名

愛媛大学農学部技術室：5 名

弓削商船高等専門学校：1 名

新居浜工業高等専門学校：1 名

### 3. 研修内容

今回の研修では，1 日目午前中は人事課指定の講義，午後は教員による機械系，環境建設系および附属農場長による専門分野の講義が行われた。2 日目は附属農場に移動して，6 名の附属農場所属の技術職員が実習講師となり，体験型の実習と農場見学および本研修受講者による意見交換会を行った。

#### 3.1 人事課指定の講義

3 名の講師により，「最近の大学の同行について」，「職場におけるハラスメント防止について」，「愛媛大学の高圧ガス保安法対策」と題した講義が行われた。

#### 3.2 専門分野の講義

機械系教員においては「人間と共存する知能機械」と題した講義が行われた。知能機械（ロボットなど）は人間をサポートするため，より人間の近くで使われることになってきている。人間と共存する知能機械について，最近の動向なども含めて学ぶことができた。

環境建設系教員においては「海洋レーダによる津波検知」と題した講義が行われた。レーダによる津波検知においては，海岸より電波を海に照射して，波にぶつかった反射波の周波数を分析することにより，波の速さ，向き，高さを計測するものである。海洋レーダは，広範囲を面として見られることが特徴である反面，津波は頻繁に観測できないこと，観測（分析）値の信頼性向上が課題であるとの内容であった。

附属農場長による講義においては「農学部における附属農場の役割と技術職員の仕事」と題した講義が行われ，2 日目の実習に繋がるような講義内容を含めたお話を頂いた。

### 3.3 農業実習と農場見学

農業機械実習では、日常業務では利用しない他分野の機械の操縦・操作体験を行った。実習では、代表的な農業機械であるトラクターおよび草刈り機の操縦・操作体験を行った。受講者は一人ずつトラクターに乗車し、講師の補助を受けながら耕運作業を行った。トラクターのクラッチは自動車のクラッチと違い、半クラッチ操作が必要ない機構であった。また、小回りを利かせるためにブレーキが左右単独のペダルが装備されていた。草刈り機の操作体験では、小型の草刈り機を使用して斜面の草刈りを体験した。



写真－1 トラクター操縦体験



写真－2 草刈り機操作体験

農作業実習では、実習講師である農学部附属農場技術職員の日常業務の一部を体験した。今回の実習では、ぶどうの収穫および出荷準備作業を体験した。収穫作業では、受講者が二人一組になり、ぶどうの収穫とコンテナ詰め作業を行った。また、出荷準備作業では受講者全員で収穫したぶどうの外観を整え、袋詰めを行った。



写真－3 ぶどうの収穫体験



写真－4 ぶどうの袋詰め体験

附属農場見学では、農場内の牛舎等の施設・設備、多数ある農機具類、栽培管理している柑橘類など、丁寧な説明を聞きながら見学した。所有する農機具類は、可能な限り農場の技術職員において修理などのメンテナンスを行っているとのことだった。

## 4. 研修終了直後のアンケート結果

本学総務部人事課人事・人材育成チームが行った研修終了直後のアンケート集計結果を頂戴したので、質問項目と回答割合および自由記述式の回答を以下に報告する。

#### 質問 1. 研修の開催時期について

適当である：81.0%，どちらともいえない：14.3%，適当でない：4.8%

#### 質問 2. 研修の期間（長さ）は適当でしたか

適当である：76.2%，どちらともいえない：9.5%，適当でない：14.3%

#### 質問 3. この研修に参加されていかがでしたか

期待を上回った：66.7%，期待どおりであった：33.3%，期待を下回った：0.0%

#### 質問 4. 研修内容はいかがでしたか

適当であった：95.2%，どちらともいえない：4.8%，適当でない：0.0%

#### 質問 5. 今回の研修に参加しての意見・感想・要望などをご自由にお書きください。（自由記述）

- ・専門分野とは異なる農学について学べたことは有意義であった。違う学部の技術職員の職務を知る機会があった方がいいと思う。同じ大学で裏方として貢献されていることは素晴らしいことだと素直に感じた。私達も切磋琢磨できるような仕事に励みたい。
- ・附属農場での実習がよかった。職員の方が熱心に説明していただき、お世話になった。良い経験ができ、講師の方々に感謝いたします。
- ・他の技術職員の業務内容がわかり良かった。
- ・農場見学等とても楽しく研修できた。
- ・農場の方のご苦勞を知ることもでき、良かった。
- ・他学部の技術職員の職務内容について知ることができた。農業機械については最近の動向や、今までは知らなかった機械について見学、体験できた。自分の専門分野においても有意義な経験となった。
- ・普段触れることがない農業機械を操作する機会が得られたことは大変貴重な体験だった。他にも前川部長による大学の現状についてのお話など、色々と勉強になる事が多かった。
- ・技術交流ができて、今後の業務の連携ができると思う。
- ・毎年継続されたら、異分野の職員同士の交流が深まると思う。
- ・地理情報や機械制御などの技術は、農業や介護、防災など多くの分野で活用されていることがよくわかった。農業機械の操作実習を通し、機械化の進歩とその利点を習得することができた。
- ・農学部主催の職員研修も行きたい。そして実施の際には工学部の技術職員の方にも参加をお願いしたい。
- ・座学はグループワークを取り入れるといいと思う。2日目は日頃体験することのない実習で、他の学部の大変さが学べた。
- ・高専から参加させていただきましたが、大学のような広い敷地で普段と違う分野について見学したり、体験させていただき、有意義な時間を過ごせました。

## 5. 研修を終えて

例年の研修では、受講する技術職員の研究・教育支援業務等に関わる実験・実習を実施してきた。今回は、新たな試みとして附属農場に出向き、体験型の農業機械実習、農作業実習と農場見学および技術交流の一環として意見交換会を行った。

アンケート集計結果より、質問 3（期待度）においては、「期待を下回った」との回答数はゼロで、全員が「期待を上回った」または「期待どおりであった」との高評価を得た。質問 4（研修内容）においても、「適当でない」との回答数はゼロで「どちらともいえない」の一人を除き高評価を得られた。質問 5 においては、ほとんどが附属農場での実習・見学における「意見・感想・要望」となっており、関心の高さとともに、肯定的な評価を頂いた。この研修を企画したものとして、十分目的が達成されたと考える。

**謝辞：**附属農場での実習を企画・実施するにあたり、農学部附属農場長ならびに実習講師を引き受けて下さった附属農場所属の技術職員におかれては、突然のお願いにも関わらず快諾していただき、無事有意義な実習を終えることができました。また、研修を実施するにあたり、計画から準備ならびに講師等ご協力頂きました本学教職員関係各位に感謝いたします。

## 平成28年度 愛媛大学技術・技能職員研修（機械・環境建設系）日程表

研修実施場所：愛媛大学本部5階第2会議室（講義，開・閉講式），愛媛大学農学部附属農場

		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日  9月8日 (木)	受付  開講式	講義				講義					
		(9:00-9:50) 「(仮)最近の大学の動向について」  総務部長 前川 幸枝	(10:00-10:50) 「(仮)職場におけるハラスメント防止について」  総務部 就業環境推進室 就業環境推進 チームリーダー 高木 佳代子	(11:00-12:00) 「(仮)愛媛大学の高圧ガス保安法対策」  理事・副学長 (学術・環境) 宇野 英満	(13:00-14:10) 「人間と共存する 知能機械」  大学院理工学研究科 教授 柴田 論	(14:25-15:35) 「海洋レーダによる 津波検知」  大学院理工学研究科 教授 日向 博文	(15:50-17:00) 「農学部における附属 農場の役割と技術 職員の仕事」  農学部附属農場 農場長 山田 寿				
愛媛大学本部5階第2会議室											
第2日  9月9日 (金)	集合  移動  (8:30- )	農業機械実習と農作業実習 (体験学習) および農場見学  (9:30-12:00)				農業機械実習と農作業実習 (体験学習) および農場見学  (13:00-15:30)				技術職員意見交換会	
		愛媛大学農学部附属農場（松山市八反地498）								移動  閉講式  (16:00- )	